

千葉教育

蓮

令和4年度
No.674

千葉の子どもたちの未来のために

特集

安全・安心な学校づくり

○シリーズ 現代の教育事情

東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科准教授 稲垣 具志
県教育庁教育振興部児童生徒安全課
県立東総工業高等学校

○提 言

ニッカウキスキー株式会社常勤顧問 久光 哲司



千葉県総合教育センター

◆学校自慢 0歳から20歳まで一聴覚障害のある子供たちの多様なニーズに応え続けるー

県立千葉聾学校校長

平尾 昌幸

◆提言 それぞれの個性を大切に

ニッカウキスキー株式会社常勤顧問

久光 哲司…2

シリーズ 現代の教育事情 安全・安心な学校づくり

■子供の横断判断能力とは？～交通安全教育における家庭・地域の役割～

東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科准教授

稲垣 具志…4

■交通安全教育の推進

県教育庁教育振興部児童生徒安全課…6

■「安全・安心をモットーに」学校安全への取組

県立東総工業高等学校教諭

橋本 友…8

私の実践

■学校を創る 歩みを止めずに

四街道市立四街道中学校校長

櫻井比呂樹…10

■学校を支える 思いをつなぐ～子どもたちのためにワンチームであるために～

流山市立南部中学校教頭

高橋絵里子…12

■学校を動かす 高め合う学校風土づくり

袖ヶ浦市立奈良輪小学校教諭

柴崎 昌紀…14

■学校を知る 「担任」として大切にしていきたいこと

いすみ市立大原中学校教諭

大鐘 潤…15

■学校を知る 教師が手本となる

県立市原特別支援学校教諭

佐久間悠太…15

■授業を創る 自ら学び、互いに高め合う児童の育成～ICTを効果的に活用した学びを通して～

船橋市立二宮小学校教諭

西川幸太郎…16

■授業を創る 国語科の授業におけるICTの活用

銚子市立第一中学校教諭

兼清 扶教…18

活・研究

■令和3年度長期研修生 研究主題一覧

県総合教育センター研修企画部…20

■長期研修の一年

木更津市立木更津第三中学校教諭

能城 貴臣…22

■令和3年度長期研修生の研究の紹介

県総合教育センター総務課・令和3年度長期研修生…23

ケーススタディ～Change the world～

■令和4年度調査研究事業「ネットワークを活用した家庭との連携に関する研究～1人1台端末の活用を通して～」について

県総合教育センターカリキュラム開発部…24

幼児教育の今

■幼児の興味関心を大切にした教育実践～Aさんの育ちから学んだこと～

県立安房特別支援学校教諭

鈴木 真紀…26

受講者・読者の声

■「千葉教育」を活かして

匝瑳市立八日市場小学校校長

杉倉 孝夫…27

■長期研修を終えて

佐倉市立青菅小学校教諭

合田 明生…27

情報アラカルト

■子どもたちの学びを深め、喚起する「ちば子ども大学」について

さわやかちば県民プラザ…28

■令和4年度特別展「鯨」

県立中央博物館…29

■令和4年度収蔵資料展「九十九里浜の海の生きもの」

県立中央博物館分館海の博物館…30

■特別支援教育部 調査研究事業に係る研究成果物の紹介

県総合教育センター特別支援教育部…31

■高等学校「総合的な探究の時間」の進め方ガイドブック（理論編）・（実践編）

同カリキュラム開発部…32

■「カリキュラムサポート室」のご案内～先生方の力量を高めるための支援事業～

同カリキュラム開発部…33

学校 NOW！

■我が校の実践 逞しい心プロジェクトの実践～第35回毎日カップ「中学校体力づくり」コンテスト

南房総市立三芳中学校…34

■学校歳時記 優秀賞を受賞して～

千葉大学名誉教授 天笠 茂…36

■学校歳時記 生活科の誕生から30年

◆発信！特別支援教育 障害のある子供の支援をする教職員の方へ～障害別基礎コンテンツ改訂のお知らせ

県総合教育センター特別支援教育部…38

◆千葉歴史の散歩道

SDGsと縄文時代の生活様式

県教育庁教育振興部文化財課指定文化財班班長

吉野 健一

道 標

「『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」（2019年3月文部科学省）は、学校安全の領域として、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の三つを挙げている。

本誌令和3年度連号では、東日本大震災から10年という節目でもあったことから、「災害安全」を特集テーマとして取り上げ、県や市町村の教育委員会、学校の取組を紹介した。

子供たちの学びや生活の場としての学校が、子供たちの安全の確保を保障することは当然のことであり、各学校では、そのための取組に力を尽くしている。

しかし、そのような中、昨年6月に、通学路で児童5人が飲酒運転のトラックにはねられて死傷する事故が発生した。これを受け、このような不幸な事故が再び起こらぬよう、県教育委員会と全市町村教育委員会が連携し、通学路の一斉点検を行い、危険箇所を把握し、継続的な安全対策を行っているところである。

本号では、「生活安全」と「交通安全」に視点を当て、子供たちが安全で安心な学校生活を送ることができるようにするための、行政や学校の取組を紹介する。各校の今後の取組の一助となれば幸いである。